

(様式 1-3)

本宮市生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

平成 29 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	12	事業名	浪江町介護施設等の施設開設準備経費等支援事業	事業番号	D-9-1
交付団体	福島県		事業実施主体 (直接/間接)	福島県 (間接)	
総交付対象事業費	5,400 (千円)		全体事業費	5,400 (千円)	
事業概要					
<p>原発事故による避難生活が長引くにつれ、高齢福祉事業の受け皿となる施設の事業再開に対するニーズが増加している。このニーズに応えるため、有限会社 秋桜が、平成 24 年より本宮市の意向仮設住宅内において、認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) 虹の家を仮設施設で事業再開した。</p> <p>なお、平成 29 年度にはより良い環境でサービスを提供できるように本宮市内の他の場所に高齢者の生活拠点として 9 床の新設と仮設施設 9 床を移築することとした。</p> <p>その移築される事業所において、安定した質の高いサービスを提供するため、施設内の備品・消耗品等を整備する。</p> <p>【事業詳細】</p> <p>設置主体：有限会社 秋桜</p> <p>施設種別：認知症高齢者グループホーム</p> <p>施設名：グループホーム虹の家</p> <p>整備場所：本宮市荒井字神山 14 番 1</p> <p>施設床数：9 床 (1 ユニット)</p> <p>補助額：5,400 千円 (補助単価@600 千円×9 床)</p> <p>購入内容：自動車 (車いす仕様車)、パソコン、ベッド、ソフトウェア等</p> <p>再開時期：平成 29 年 8 月 1 日予定</p> <p>(被災前の状況)</p> <p>住所：双葉郡浪江町大字立野字根渡 183 番地</p> <p>床数：9 床 (1 ユニット)</p>					
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
居住制限者の避難の状況との関係					
<p>浪江町は平成 29 年 3 月に避難指示解除 (帰還困難区域を除く) をするという事で準備を進めている。しかし、先に解除されている他町村をみても実質的な帰還人数は少数であり、町の復興と町民帰還には未だ相当程度の期間を要する。</p> <p>また、家族が離れて暮らす中で世代間で別々の生活を送っており、そのような状況では日常生活の多様性が無くなり、慣れない避難先での生活不安から、認知症増加の懸念があることから、認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) 虹の家は必要不可欠な施設である。</p>					
※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					